

◆委員会報告

防災管理委員会

【目的】

防災管理に関する種々の問題を検討し、防災管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師7名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、栄養士1名、事務員3名

【内容】

- ・災害マニュアル更新
- ・消防訓練
 1. 消火器を使用した訓練
実施日：4月2日(火)
1月16日(木)
 2. 避難訓練
実施日：1月15日(水)
想定：平日夜間 21:30
火点2階洗面所在室者無
- ・消防設備点検について
実施日：8月26日(月)～8月28日(水)
実施業者：日本管財株式会社
※本年度自動火災報知設備更新
- ・次年度災害訓練について

医療ガス安全管理委員会

【目的】

医療ガスに関する種々の問題を検討し、医療ガス管理体制の充実及び適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床工学士1名、事務員2名

【内容】

- ・医療ガス設備点検について
実施業者：内村酸素株式会社
実施日：7月26日(金)～7月27日(土)
医療ガスタンク周りの柵・看板の更新実施。
- ・医療ガス機器更新について
- ・医療ガスボンベ病棟保管分の在庫管理について

衛生委員会

【目的】

職員の健康と衛生を確保するための管理を行なうことを目的とする。

【構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、事務員2名

【内容】

採用時健康診断実施
職員家族健康診断実施

特定業務従事者健康診断実施
インフルエンザ予防接種実施
定期健康診断実施

院内感染対策委員会

【目的】

院内感染に関わる対策を協議し、施設内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師2名、臨床検査技師2名、放射線技師1名、理学療法士1名、言語聴覚士1名、事務員2名

【内容】

1. 感染レポート(週報、月報、年報)の集計、発行、確認。レポート内容は、部位別病棟別培養分離菌・感受性率・耐性菌動向・入院時 MRSA スクリーニング・抗酸菌動向
2. 院内の感染症対策(外来待合室、処置室等の室内空間、備品設備等、手技的なもの、事故発生時の対応策、ワクチン接種等の予防策)
3. 感染サーベイランスへの取り組みについてのデータ整理
4. 抗菌薬使用実績報告
5. ICT 活動の支援
6. マニュアル策定、改訂審議
7. 感染対策に対する全職員向け教育活動(講演・実技講習会 年2回、ポスター啓蒙活動)
8. 緊急事態(アウトブレイク発生時)への対処(ノロウイルス・インフルエンザウイルス・耐性菌)
9. ICT 活動 病棟回診(毎週木曜午後)と回診後のカンファレンスを別に実施。
10. ICT 活動 院外感染対策カンファレンスへの参加(年4回開催)。

医療事故防止対策委員会

【目的】

医療事故予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対応など、本院における医療安全体制を確立し、適切かつ安全な医療、及び患者中心の医療サービスの提供をはかることを目的とする。

【構成】

医師3名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名、リハビリ2名、放射線技師1名、栄養士1名

【内容】

1. インシデント・アクシデントレポートの報告・分析
インシデント・アクシデント報告件数 年間 192件
2. インシデント・アクシデント防止のための対策
 - ・患者誤認に対しマニュアルの厳守と確認の周知徹底
 - ・セーフティを徹底して、患者誤認や薬剤間違い防止
 - ・転倒防止への対策(患者情報把握と共有、各種センサー

- の利用)
3. 針刺し事故防止対策
 - ・新人看護師の末梢静脈点滴開始時、指導を行う。
 4. 新人教育 新人教育研修 医療事故防止と院内感染対策
 5. 車椅子の管理・点検
 - ・車イス管理システムを用いて徹底した管理を行う。
 6. 小委員会の開催（毎月第2月曜日）
 7. 全職員向け医療事故防止対策研修会の実施
 - ①7月24日
 - ・平成24年度インシデント・アクシデント報告・車椅子の管理に関して
 - ・薬剤の医療安全情報提供・医療安全の基礎知識講演
 - ②3月18日、19日
 - ・KYTグループワーク
 8. 委員会メンバーの研修会参加・報告
 - ・医療安全に関する研修会参加
 9. 院外からの事故報告の情報収集と職員への周知
 - ・病院機能評価機構より
 - 「薬剤の取り違い」「アレルギーのある食物の提供」「手術中の光源コードの先端による熱傷」「病理診断報告書の確認忘れ」「硬膜外腔に持続注入する薬剤の誤った接続」「放射線検査での患者取り違い」
 - ・医療機器薬品安全情報 Pmda より
 - 「インスリンペン型注入器とその注射針の組み合わせ使用」「インスリン注入器の取り扱い時の注意について」「チューブやラインの抜去事例について」「気管切開チューブの取り扱いの注意について」「グリセリン浣腸の取り扱い時の注意について」
 10. インスリン投与の手順の周知、徹底
 11. 「患者安全推進ジャーナル」を図書室へ
 12. 医療安全回診の実施

輸血委員会

【目的】

安全で適正な、輸血療法を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名

【内容】

1. 月末院内在庫数・月間使用数の報告
2. 輸血副作用発生の監視、報告
3. 輸血に関わる医療事故防止策の策定
4. 適正使用への働きかけ
5. 運用体制の確立、業務の見直しに係わる協議、策定
6. 院内各部署からの問題点への審議と答申

【輸血用血液製剤の年間使用数と破棄率】

- ・RCC 2単位使用数293本（586単位）
前年度261本（522単位）
- ・RCC 2単位破棄数30本（60単位）破棄率9.26%
前年度14本（28単位）破棄率5.07%

製剤名称	血液型	2012年度 年度末 在庫	在庫数	破棄数	使用数	2013年度 年度末 在庫
照射赤血球濃厚液-LR 2単位	A+	0	128	9	118	1
	A-	0	1	0	1	0
	O+	0	99	2	97	0
	B+	0	76	10	66	0
	AB+	1	18	8	11	0
	AB-	0	1	1	0	0
小 計		1	323	30	293	1
照射濃厚血小板-LR/ 10単位	A+	0	1	0	1	0
	O+	0	3	0	3	0
	B+	0	2	0	2	0
小 計		0	6	0	6	0
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450)/5単位	O+	0	3	0	3	0
	AB+	1	0	1	0	0
小 計		1	3	1	3	0
新鮮凍結血漿-LR-480 /5単位	A+	0	4	0	4	0
	O+	0	1	0	1	0
小 計		0	5	0	5	0
総 計		2	337	31	307	1

栄養管理・NST委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士2名、理学療法士1名、作業療法士1名、管理栄養士1名

【内容】

- ・委員会の開催（毎月第2木曜日）
- ・NST回診の実施（毎週月曜日）
- ・NST勉強会の開催
 - 6月：症例検討（甲斐医長）
 - 7月：腸内フローラとプロバイオティクスについて（検査室）
 - 9月：当院の経管栄養剤と強化食品について（栄養管理室）
 - 1月：アミノ酸の基礎知識について（薬局）
 - 2月：摂食機能療法導入の実践について症例報告（看護部）
- ・宇城地域栄養懇話会の世話人
 - 4月19日、10月18日 宇城地域栄養懇話会開催
- ・宇城地域栄養懇話会にて症例発表（10月18日）
 - 「当院廃用症候群患者における栄養と日常生活能力について」：財津作業療法士
- ・歯科医院主催の勉強会への参加
- ・看護師での摂食機能療法の算定開始（1月から4病棟にて算定）
- ・給食管理業務に関する事項についての検討、対策

褥瘡管理委員会

【目的】

褥瘡管理業務に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、栄養管理士1名、作業療法士1名

【内容】

- ・委員会開催（奇数月：第2金曜日）
- ・褥瘡回診の実施（第2・4金曜日）：
2013年度褥瘡回診実施者52人
- ・褥瘡発生状況（有病率と推定褥瘡発生率の算出）
- ・委員会内での褥瘡保有者に関する症例検討（2回/年）
- ・褥瘡に関連する勉強会開催
（看護部向けDESIGN-Rについて：3月）
- ・褥瘡管理に関する必要事項の見直し、検討

救急運営委員会

【目的】

救急医療を円滑に運営するための対策案の検討とそれを実施する為協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

常勤医師全員、看護部長全員、薬剤師1名、臨床検査技師1名、放射線技師1名、事務1名

【内容】

- ・救急患者数の動向
- ・CPA死亡患者・ヘリコプター搬送患者の症例検討
- ・救急医療実施上の問題点の検討

臨床検査検討委員会

【目的】

臨床検査の適正化及び効率的運営を目指すために、精度管理等、具体的事項について研究審議し、関係各部署間の情報伝達並びに連絡調整を図る。

【委員会構成】

臨床検査技師3名、看護師1名、事務員1名、他に検査部検査室員がオブザーバーとして参加する。

【内容】

- ・臨床検査精度管理調査報告
- ・機材整備購入に関して
- ・検査試薬変更、基準範囲変更に関して
- ・保険点数審査請求に関して
- ・セット検査の組み方についての検討
- ・超音波検査の外來予約枠の検討
- ・電子カルテ運用に関連した事案について検討と関連部署間の調整

診療情報管理委員会

【目的】

診療情報の適切な管理により診療、調査研究、教育、法的資料、情報開示などの資料として有用に利用することで、安心・安全で質の高い医療の実現を図る。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、事務2名

【内容】

- ・診療記録開示（5件）
- ・診療情報の提供に関する指針の改定
- ・診療録（電子カルテ）監査の実施（月1回）と医師へのフィードバック
- ・退院後2週間以内のサマリー作成率90%以上への取り組み
- ・入院診療計画書作成依頼
- ・死亡退院患者の地域がん登録依頼と遡り調査票の作成
- ・診療録の管理（外来カルテの保管場所移動）

医療倫理委員会

【目的】

医療倫理問題に関する審議・上申を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師3名、薬剤師1名、理学療法士2名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内容】

- ・計12回開催
- ・医療現場で生じている「倫理的問題」を議論
- ・全職員向け医療倫理研修会の開催（講演、患者の権利の周知、DVD上映など）
- ・研究における倫理的内容の審議
- ・当院で作成された事前指定書の内容の審議

薬事審議委員会

【目的】

医薬品の採用等に関する審議・上申を行う

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員2名

【内容】

- ・計10回開催
- ・15品目を採用（10品目削除）
- ・特殊購入医薬品（9品目）の報告
- ・医薬品の適正使用の推進
- ・院外および院内における副作用等の報告・情報共有
- ・電子カルテを有効活用した医薬品の安全管理

診療機材購入検討委員会

【目的】

医療機器・診療材料等、診療にかかわる機材購入を審議

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員3名

【内 容】

■医療機器等導入実績

生化学自動分析装置（救急輪番制補助事業）、エレベーターバス、救外用ストレッチャー、整形電動マイクロドリル、眼底カメラ、経腸栄養ポンプ、センサーマット 他

■高額修理・保守契約 等検討

一般撮影・透視撮影装置フルメンテナンス契約、骨密度測定装置修理、病棟ベッドボード修理 他

外来検討委員会

【目 的】

外来診療業務を円滑に運用し外来患者の顧客満足度を向上するために、外来診療業務に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、放射線技師1名、臨床検査技師1名、リハビリスタッフ1名、事務2名

【内 容】

- ・外来患者待ち時間調査（10月）
- ・外来患者満足度調査（10月）
- ・外来待ち時間・満足度調査結果の報告（2月朝礼）
- ・待ち時間の有効利用についての検討
- ・各部署からの問題事項に対しての検討
- ・外来意見箱の問題事項に対しての検討

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

【目 的】

回復期リハビリテーション病棟の業務を円滑に運用し、他部門との連携を良好に保つために、その運営方法について考える。病棟運営において病床管理を支援し、回復期リハビリテーション病棟の健全な運営を考える。リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上を図ることを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、リハビリテーションスタッフ3名、医療ソーシャルワーカー1名、医事1名、事務1名

【内 容】

- ①運営委員会の実施
→月1回：第2木曜日
- ②地域連携パスの協力
- ③回復期病棟実績報告の協力
→全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会・厚生労働省ほか

④回復期病床の運営管理と院内病床の運営支援

⑤研究発表

1) 済生会学会

「高齢化率30%を超える地域の回復期リハビリテーション病棟の現状～2025年の回復期リハビリテーション医療を見据えて～」 新谷大輔主任
「日常生活機能評価点数改善、質の向上に向けて～四点改善に向けた看護ケアの評価～」 松崎平

2) 全国回復期リハ病棟連絡協議会研究大会

「回復期病院から転院してきた症例～自宅退院を目指した2か月間の関わり～」 谷口直也主任
「回職種間連携によって目標・ケアの統一を図った取り組みについて」 小嶋瑞穂

医療サービス向上委員会

【目 的】

病院全体、各部署、委員会の「医療サービスの質向上に関する項目」について横断的に情報収集・ヒアリングを実施し、評価や改善に向けた提案等を行い、医療サービスの向上を図ることである。

【委員会構成】

医師1名、看護師3名、作業療法士2名、臨床検査技師1名、放射線技師1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員1名

【内 容】

- ・2005年5月に委員会を開設。毎月1回実施している。
- ・あいさつ運動の実施（7/1～7/12・11/5～11/15）の年2回開催）
あいさつ運動の一環で「MSW（みすみ）総選挙」と銘を打ち、職員投票と表彰を実施
- ・ご意見箱の掲示、院内周知
（2005年12月より運用開始。患者のクレームに対する回答を院内に掲示。2013年度投書件数は17件【お褒めの言葉：1件、ご意見・苦情の言葉：16件】）
- ・患者満足度調査の実施（退院患者を対象にアンケート実施し、朝礼にて院内周知を図る）
- ・患者説明室アメニティの改善（掲示物の変更、季節の小物の設置）
- ・接遇研修を実施（8/21・8/29・・・全職員を対象に院内接遇研修を実施）

教育委員会

【目 的】

全職員を対象にした研修会・勉強会等に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、放射線技師1名、理学療法士1名、事務員2名

【内 容】

1. 全職員に対して、以下の研修会・講習会を実施した

①階層別研修会

- ・新入職員研修会（新入職員）
- ・2年目フォローアップ研修会（2年目職員）
- ・係長・主任研修会（幹部・リーダー研修会参加者除く係長・主任）
- ・幹部・リーダー研修会（幹部・医師・所属長）

②全職員を対象とした研修会

- ・感染対策、医療安全、接遇、医療倫理、個人情報保護法研修会

③疾患に関する勉強会

④OFF-JT 研修

- ・接遇研修（新入職員対象）
- ・効果の出る会議に進め方研修
- ・ポジティブコミュニケーション研修
- ・チームビルディング研修
- ・フレームワークデザイン研修
- ・コーチング研修

2. 全職員向けの部署毎の年間教育プログラムを作成し、グループウェアにて閲覧できるようにした

連携協議会

【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病院連携を円滑に行うため、連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、作業療法士2名、医療ソーシャルワーカー2名、事務員1名

【内容】

- ・みすみ港祭り（7月20日（土）、参加人数96名）
- ・健康フェスタ（11月10日（日）準備、運営等）
- ・宇土郡市医師会主催ミニバレー・綱引き大会参加（11月16日（土）、企画・練習・準備）
- ・クリスマスの集い開催（12月7日（土）、三角小学校・中学校の生徒さん、大正琴の会ボランティア参加、病院職員によるひょうとこ踊り）、クリスマスの集いについてのアンケート実施・反省・検討
- ・みすみランラン駅伝（1月19日）
- ・宇天医会学術講演会の取りまとめ（6月、10月の2回/年開催）
- ・生活支援連携協議会の開催・取りまとめ（7月、1月の2回/年開催）

広報委員会

【目的】

病院の内外の広報に関する事項を患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くために広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画・その他広報を検討・実施する。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

医師1名（オブザーバー1名）、看護師2名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士1名、事務員3名、医療ソーシャルワーカー1名

【内容】

- ・2012年報内容検討・校正・発行
- ・院内誌「済生くまもと」第87号、88号、86号内容検討・校正
- ・患者向け院外誌「さいせい」第33、34、35号の内容検討・校正・発行
- ・院内掲示物チェック、指導
- ・パンフレット内容検討、更新印刷

職場改善委員会

【目的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、看護助手1名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、リハビリテーション室2名、事務2名

【内容】

- ・職員意見箱に出された意見を病院側（担当部署・委員会等）に報告・改善検討依頼
- ・職員の福利厚生に係る年間行事企画
 - ・新入職員歓迎会（4月3日：トライコート）
 - ・新入職員歓迎ボウリング大会（6月28日：松橋ボウリングセンター）
 - ・忘年会（前半12月13日：ホワイトパレス、後半12月20日：岬亭）
- ・2013年度より、永年勤続表彰伝達式も忘年会の中で実施
- ・開院記念日地域清掃活動（3月1日：天草パールラインマラソン大会コース周辺）
- ・送別会（3月20日：ホテル竜宮）
- ・職員満足度調査の実施（回収・集計後、働きやすい職場づくりプロジェクトへ報告）

個人情報保護検討委員会

【目的】

個人情報保護方針、規定等を整備・実践し、患者さんの個人情報及び職員の個人情報を保護することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、事務員2名、MSW1名

【内容】

- ・個人情報監査シートの作成、実施
- ・個人情報保護規程の見直し、検討
- ・情報システム委員会と共同で個人情報保護についての研修会を実施（3/12）

緩和ケア委員会

【目的】

緩和ケアに関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師3名、看護師3名、理学療法士1名、作業療法士2名、
薬剤師1名、事務員1名

【内容】

1. 委員会の開催1回/月（第3金曜日）
2. 緩和ケア回診1回/週（水曜日）述べ147名
3. デスカンファレンス、緩和ケア症例検討会を4回実施
4. 勉強会の実施
疼痛緩和に使用する薬剤について全職員を対象に勉強会を実施
退院支援マニュアルの見直し後、退院支援について全職員を対象に勉強会実施
5. 死亡退院患者の家族へのアンケート実施
6. 講師招聘
にしくまもと病院松本医師を招聘し、講演実施「在宅緩和ケアについて」

情報システム運営委員会

【目的】

情報システムの安定稼働・運用・ガイドライン等に関する審議・上申。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員3名

【内容】

- ・次期電子カルテシステム更新検討
- ・既システムの満足度調査
- ・整備範囲、スケジュールの検討
- ・システム停止時の運用検討

病床管理会議

【目的】

1. 入・退院に関する事項及び一般病床・回復期病床・亜急性期病床の適正運用を推進するために協議し方向性を決定する
2. 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保や効率的運用対策など具体的施策の立案・調整を図る
3. 病床利用率85%以上を目指す施策を推進する
4. その他病床運営に必要な事項を検討・実践する

【委員会構成】

入院患者主治医の常勤医師 看護師5名、
リハビリスタッフ3名、事務1名、
医療ソーシャルワーカー2名

【内容】

- ・開催日 毎週水曜日17:00-17:30
会議開催の前週の実績（病床稼働状況、各病床の病床利

用率、平均在院日数、紹介・逆紹介件数の実績）を確認し、患者状況等に応じて回復期や亜急性期病床への転科を促している。これによって救急患者用のベッド確保、長期入院患者の把握等を行い、有効な病床利用と情報共有に向けた取り組みを行っている。

リハビリテーション広報プロジェクト

【目的】

- ・当院におけるリハビリテーション機能を急性期病院また、地域へ広く広報していく
- ・急性期病院また、地域の医療機関との連携を強化する
- ・リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上をはかる

【委員会構成】

医師1名、MSW1名、理学療法士4名、作業療法士4名、
言語聴覚士2名

【内容】

- ①継続して急性期病院または他院からの転入患者に対して、リハビリ経過報告書の送付
・2013年度リハビリ経過報告書総数：253通（内訳入院又は入棟80通、退院時173通）
・病院別送付数：済生会熊本病院91通、天草地域医療センター28通、熊本中央病院8通熊本医療センター5通、熊本赤十字病院3通、熊本大学医学部付属病院3通、他
- ②前方連携の強化を行うに当たり、地域連携室への転帰報告書（経過報告）を新規作成し送付開始
・11月より開始し、3月時点で、天草地域医療センター：11通、その他急性期：7通を発送
- ③医療機関（特に急性期病院）と一般市民（主に前出講座）に向けた広報誌の作成及び配布
- ④院内でのリハビリ広報としてポスター掲示
- ⑤出前講座でのリハビリ広報メニューの講座実施。及び講座時の広報誌の配布アナウンスの実施
・不知火中学校へ出前講座テーマ「リハビリテーションとケア（介護）について」
→中学1年生、教員方々を対象に実施、学校教育におけるキャリア教育の一環として依頼
→学生から感想文集を頂き、リハビリテーション通信の発行及び広報誌さいせいへの掲載
・リハ広報メニューにて「元気に暮らせる生活習慣を身につけよう」：2講座
「予防リハビリテーションについて」：2講座
・出前講座前にMSWを通じて広報誌の配布及びアナウンスの継続実施

QC大会実行プロジェクト

【目的】

QC活動を介して職員間の交流を図り、業務・改善を促すことを目的とする

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名、
診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員3名

【内 容】

1. 第4回QC大会を実施した
- ①QC活動勉強会 7月18日(木)
- ②QC活動報告書提出締切 1月31日(金)
- ③第4回QC大会 2月19日(水)
- ④結果発表および表彰式 (開院記念日) 3月3日(月)

最優秀賞：リハビリ部門QC

優 秀 賞：車椅子部

敢 闘 賞：SoftBall QC Team

敢 闘 賞：トロミ部隊

オーディエンス賞：SoftBall QC Team

特 別 賞：外来検討委員会 (歯止め)

特 別 賞：食事オ－－ダ－－♪ (歯止め)

社会福祉推進事業プロジェクト

【目 的】

済生会生活困窮者支援事業の計画・運営にあたり、院内・
院外との連携を深め円滑に業務を遂行するための諮問機関
として活動を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、作業療法士1名、
医療ソーシャルワーカー3名、事務員2名

【内 容】

- ①無料低額診療事業推進に関する検討
- ②生活困窮者支援事業 (なでしこプラン) に関する検討

健康フェスタプロジェクト

【目 的】

地域住民(子供、大人、高齢者)に病院を知っていただく
機会を作り、地域住民の健康意識の向上と病院のPR、患
者増を目的に、職員一丸となって取り組む。

【委員会構成】

診療部1名、看護部3名、薬局2名、検査室1名、
放射線検査室1名、リハビリ室3名、栄養管理室1名、
医事室1名、医療相談室2名、事務員2名、事務局3名

【内 容】

・開催日：11月10日(日) 10:00～15:00

来場者数：494名

職員参加数：127名

出演団体：網田保育園、天草ありあけ太鼓、うき神輿、
椿会、大道芸人、健康づくり講演会(藤岡院
長、庄野副院長、磯部医員)、うんばば中尾
さん(司会)

【外来ブース】お薬・栄養相談、健康相談、写真撮影(職業
疑似体験)、おむつ紹介、介護体験、みすみ歯科クリニッ
ク、クボタライフ

【放射線、健診ブース】乳がんコーナー(触診体験)、プチ健

診、手洗いチェックコーナー、アロマ足浴コーナー

【オレンジホール】外科手術体験、BLS 体験、動脈硬化測定
体験、体力測定、療法士体験

【テニスコート】ミニ SL、バルーン遊具、救急車、ストラッ
クアウト

【出店】綿菓子、いなり、唐揚げ、ポテト、焼きそば、やき
とり、ピタパン、手作りパン、カレー、ジュース、ホット
ドック、焼き芋、コーヒー、吟将製菓、ラガール

患者療養支援会議

【目 的】

当院の外来受診、入院中の患者又は家族からの疾病に関
する医学的な質問や生活上及び入院中の不安など、様々な
相談に対応し、患者が抱える治療、療養上の問題解決を目
的とする。

(相談内容の具体例)

1. 治療に関する相談、不安や苦情、要望などに関する相
談。
2. ガンに関する様々な相談。
3. 他の医療機関への受診・転院に関する相談。
4. 医療費の心配、福祉制度の利用などに関する相談。
5. 自宅退院時、訪問看護や介護保険サービス利用につい
ての相談。
6. 個人情報に関する心配、苦情などの相談。
7. その他、入院や通院における心配事や困ったこと、当
院に対する苦情、意見など。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、放射線検査技師1名、
検査技師1名、作業療法士1名、管理栄養士1名、
医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内 容】

1. 相談窓口は1F 総合受付に設置。(平日8:30～17:00)
2. 相談窓口の専任は医師・看護師・准看護師・薬剤師・放射
線技師・臨床検査技師・管理栄養士で構成。
3. 関係部署のスタッフは1/週カンファレンス (患者療
養支援会議) に参加し、相談内容と対応の状況を確認
し協議し、その内容を毎月管理運営会議に報告する。
4. 患者等から相談を受けた場合の対応体制
- ①患者等から相談を受けた場合、その内容に関連する
スタッフと随時相談し対応する。
- ②各部署で受けた場合、担当者(所属長)に相談し対
応する。相談内容や対応の経緯については所定の書
式に記入し、カンファレンスの議題とする。
5. 2013年度相談件数 169件

事前指定書検討プロジェクト

【目 的】

当院における事前指定書の運用・書式・支援体制の検討
を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、理学療法士1名、事務員1名、医療ソーシャルワーカー1名

【内 容】

- ・2012年度に作成した事前指定書・ガイドライン 第1版の製本
- ・よろず相談窓口・外来ホールに事前指定書設置
- ・健康フェスタでは事前指定書のブースにて案内
- ・随時、内容・書式の検討

- ・看護勤務作成に関する師長へのアンケート調査、希望休記入用紙のレイアウト見直し検討
- ・委員会・プロジェクト書記へのアンケート調査、開催時間の短縮・効率化検討
- ・休暇諸制度に関する全職員への認知度アンケート調査、周知用リーフレット作成検討
- ・職員交流を目的とした、シエスタでのイベント（クリスマス会）開催

図書委員会

【目 的】

図書・図書室の運営状況（図書・図書室の環境・管理・活用）は決して十分ではない為、多職種のスタッフの意見を聞き、図書室の運営（環境、管理・活用、購入・予算の検討等）について検討・協議する。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、理学療法士1名、放射線技師1名、事務員2名

【内 容】

- ・図書環境充実のための検討（図書室の整理整頓、配置換え）
- ・図書の購入・予算についての検討（年間予算の確認、部署ごとの購入実績、全体の購入実績等）
- ・各部署定期購読分の種類の見直し（医局、医療相談室の種類追加）
- ・発注が撫子会から病院へと業務移管したため、購入の流れの整備を行った

働きやすい職場づくりプロジェクト

【目 的】

職員が「働きやすい職場環境」の構築に向けて具体的な取組を検討する。最終的には、以下の点を目的とする。

- ・職員のニーズに合致した魅力的な職場環境を提供することにより、優秀な職員の離職防止、新規職員の獲得
- ・職員一人ひとりのモチベーションや生産性を高め、患者に提供する医療の質やサービスレベルを向上

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、リハビリテーション室2名、事務4名

【内 容】

- ・職員満足度調査及び看護部インデックス調査（看護協会）の結果の分析、アクションプランの検討
- ・看護協会主催WLBワークショップへの参加、報告
- ・各アクションプランの実施
 - ・時間外業務削減に向けた所属長へのアンケート調査、終礼（事前申請制等）の定着化検討
 - ・有給休暇取得率UPに向けた所属長へのアンケート調査、取得数の部署内で共有・見える化検討